

次代を担う若者たち

期待のNEW FACE

昨年、初のリーグ優勝を成し遂げた駒大。その駒大に今年も期待の新生が続々と入部した。他の強豪大学の新入生と比べても遜色ない選手が集まり、はやくもレギュラー獲得に向け強烈にアピールしている。ここでは有力な新人選手を紹介していきたいと思う



KAZUKI HARA

原 一樹

練習試合ではコンスタントな結果を残しレギュラー一獲りへおおいくアピールした。中でもジェフとの練習試合で見た2得点は大きなインパクトを残した。原は今年の高校選抜にも選ばれている。



YUKI MAKI

巻 佑樹

兄(巻誠一郎・ジェフ市原)譲りの身体能力とガッツを持ち合わせる巻佑樹。高校時代はDFだったが大学ではFWとしての起用が濃厚。「足元は兄貴の一年の時よりもうまい」と監督も期待を寄せている。



KAZUTO TUYUKI

筑城 和人

「久々に駒大にきたサイドバック」と監督が期待を寄せるプレーヤー。ハードなディフェンスが持ち味でボールを扱うのもうまい「監督好み」のDF。好きな選手はダウンガ(元ジュビロ磐田)



ポジション	氏名	体重・身長	前所属	メモ
GK	三栗寛士	180 ㎏・78 ㎝	鹿島ユース	安定感のあるGK。元U-17日本代表のキャプテン
DF	筑城和人	171 ㎏・68 ㎝	清水商業高校	アグレッシブなディフェンスを得意とするサイドバック
	廣井友信	180 ㎏・73 ㎝	前橋育英高校	高さ強さを兼ね備えたセンターバック
	浅野浩一	182 ㎏・70 ㎝	境高校	身体能力が高い、駒大の秘密兵器
MF	柳崎祥平	175 ㎏・69 ㎝	鹿児島実業高校	攻守に優れたMF。右足からのパスは必見
	椿原徹也	157 ㎏・53 ㎝	丸岡高校	小柄ながらも正確な技術で相手のゴールを脅かす
FW	原 一樹	176 ㎏・68 ㎝	市立船橋高校	得点感覚に優れ、スピードのあるFW
	巻 佑樹	181 ㎏・73 ㎝	国見高校	空中戦に強く、国見時代に培ったディフェンス能力が高いFW
	船山 翼	185 ㎏・81 ㎝	桐光学園高校	ポストプレーを得意とするFW。左足のシュートにも注目
	石川 充	187 ㎏・75 ㎝	八千代高校	長身を生かしたプレーでゴールを量産する
	新川真之介	167 ㎏・63 ㎝	東福岡高校	卓越したテクニックをもつプレーヤー

全員が注目選手!! 層の厚さは確実に上がった

今年の新生を見るに輝かしい経歴を持つ選手が多い。U・17日本代表、高校選手権優勝など様々な経験をつんでいる。秋田監督も「底辺は上がったと思う」と語り、新生に期待をしている。

その中でも合流してすぐにトップチームで強烈なアピールをしているのが市立船橋の原一樹と国見の巻佑樹である。この2人、今年の高校選手権決勝で直接対決をし、今では2トップを組んでいる。原、巻は合流して間もないジェフとの練習試合で2得点ずつ得点し強烈なインパクトを残している。しかし、合流して強烈なインパクトを残しているのは何も原や巻だけではない。筑城や廣井も首脳陣からの評価は高い。廣井は「対一に強く高さもある。筑城はハードなディフェンスが持ち味。でも、ボールをもつてもうまい。イングランド、イタリヤタイプのサイドバックだね」と秋田監督も語る。

無名だが監督が「秘密兵器」と語る浅野にも注目したい。身体能力が高く、足元の技術もあるだけにブレイクの予感を漂わせる。鹿島の柳崎はテクニックがあり、シュートもパスも狙えるプレーヤー。ただ「もうちょっと体が強くない」と監督は語る。丸岡の椿原も体作りが当面の課題だが「ミスが少なく、スピードもある」と監督期待の選手の一人である。桐光の船山は「体の使い方がうまくて、大宮の盛岡剛平に似ている」と監督が評価する通り、大きな体を生かしてゴールを量産する。左足のシュートにも注目して欲しい。大型FWとして船山、巻とともに期待されているのが八千代の石川。187 ㎝の長身から繰り出されるヘディングは脅威である。GKの三栗も注目選手の一人である。今はトップチームではないがトップチームの2人と実力的には変わらない」と監督も三栗の潜在能力に期待をしている。信頼感が求められるポジションだけにあとはチームメイトからの信頼を得られれば一気にトップチームデビューとなるかもしれない。

他にも膝の手術で合流が遅れた新川などタレントがひしめく。大学のサッカーに慣れ、生活にも慣れれば一気にブレイクするだろう。だが、原は「大学では体調管理など何でも自分でやらなきゃならない」とはやくも大学でサッカーをやることの難しさに直面している。この壁を越えたくば彼らは人間としても「選手」としても成長していることだろう。